

# 各支部長 新春のご挨拶



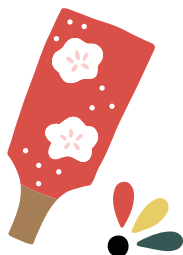
旭川支部 支部長  
堂 下 和 博

皆様には清々しい新年を迎えられたことと存じます。本年もよろしくお願いたします。

昨年は東京オリンピックの開催もありましたが、目に見えないコロナウイルスに振り回され常に不安が付きまとう一年でもありました。こうした状況下では例年行ってきた業務研修会はじめ広報活動も中止あるいは縮小を余儀なくされ、支部事業の実施もままならない状況に置かれました。

特に旭川市は第5波の感染状況が収束しない中で、11月には人口10万人当たりの感染者数が一時全国最悪になるなど、会員の業務はもとより日常生活にも影響を及ぼすほどでした。

この冬には第6波の到来も懸念されていますが、感染状況を注視しつつ旭川支部ではこれまで中止していた業務研修会や市民向けの無料相談会を再開すべく検討を行っています。新たな年度において、例年のどおりの事業が不安なく円滑に実施できることを願ってやみません。皆様のご繁栄とご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



網走支部 支部長  
池 田 真 哲

全道の会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

日頃より当支部の活動に対しまして、多大なるご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、昨年一年間のほぼ半分が緊急事態宣言及びまん延防止期間という状況となり、我々にとって様々な活動を制限することが余儀なくされました。そんな中、新支部長として支部のかじ取りを仰せつかることとなり、私自身、改めて支部にとって今何が必要とされているかを考えさせられる一年でございました。

オンラインで行っていた理事会を対面に切り替え、何とか12月には集合形式にて支部研修を開催することができ、支部役員の皆様にはこの場をお借りして感謝申し上げます。また、支部研修会においては、支部会員と久しぶりに顔を合す機会となり、皆さんの生き生きとした表情を拝見することができ、これからの支部活動をより一層活発化させる必要があると感じました。

昨年の道東四支部研修会も一昨年に引き続き開催延期ということとなり、当番の十勝支部の皆様におかれましては、歯がゆい思いをされていると思いますが、今年はきっと開催できると思いますので、その時を心待ちにしております。

最後になりますが、全道会員の皆様の今年も変わらぬご高配を賜りますようお願い申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

